

プラント配管をより強く、さらに効率よく、そして美しく

究極のフィット感

HyperElbow^{ハイパーエルボ}

～曲部配管保温外装材～

新製法!

板金折り曲げ加工を応用してつくった
曲管部板金カバー

圧倒的な防水気密性を発揮する、新次元の曲部配管保温外装材です。

雨水を 入れない

ハイパーエルボは金属板どうしを圧着させる製法のため雨水の侵入を防止し、保温材の長寿命化を実現。配管を腐食から守ります。

圧倒的な 強度

新技術サイクルホールドシステムにより圧倒的な強度を実現。衝撃や圧力などによる割れを防ぎ配管を守ります。

新製法の曲管部板金カバー

「HyperElbow」が実現すること

工期短縮・ コスト削減

ハイパーエルボは現場で取り付けるだけ。面倒な展開設計、パーツごとの取り付け作業も不要。人件費削減・工期短縮にも貢献します。

美しい 仕上がり

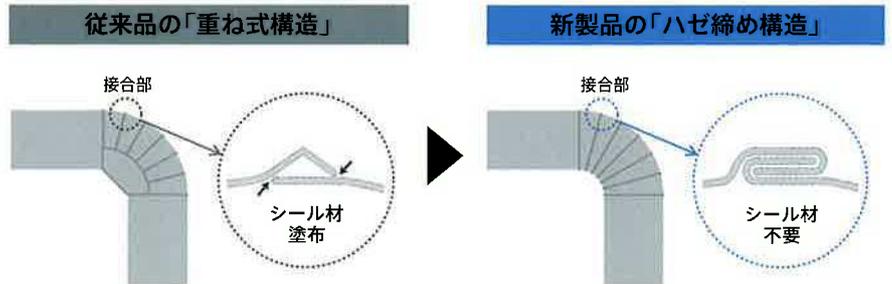
今まで難しかった金属板どうしの曲線ハゼ締め加工を可能にし究極のフィット感を実現。あらゆるニーズに対応し美しくシンプルに仕上げます。

金属板を力強く締めて、 つなげて、曲げる

HyperElbow ハイパーエルボ
～曲部配管保温外装材～

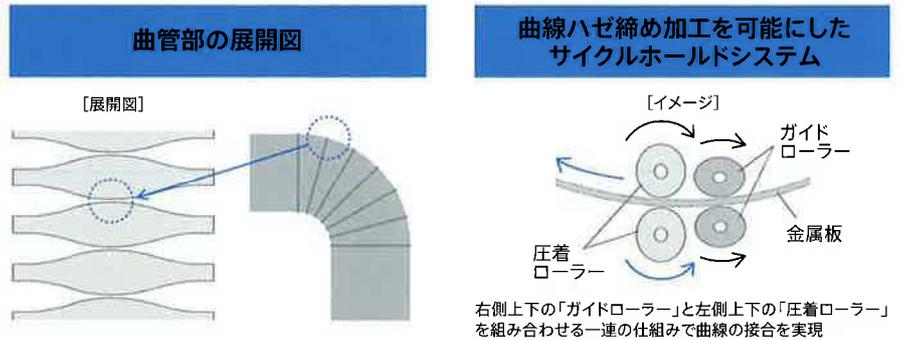
従来品の課題を克服した新構造

一般的な従来品は、金属板を重ねながらリベットやスポット溶接で組み立てる「重ね式構造」でつくられます。接合部にシーリング(コーキング)材を塗布しますが、衝撃や圧力で接合部が割れ雨水侵入による断熱効果の低下が指摘されていました。ハイパーエルボは、ハゼ締めと呼ばれる金属板どうしをかしめる加工で強固につながります。



新技術『サイクルホールドシステム』を開発

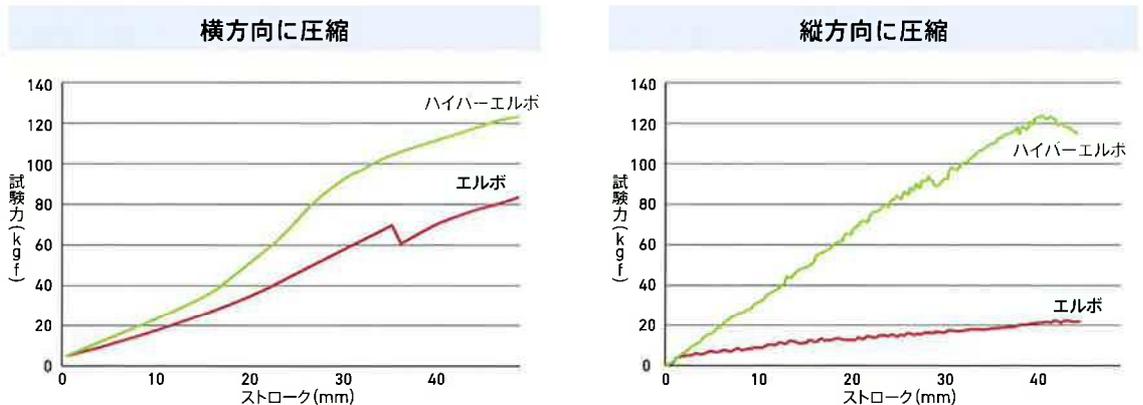
曲線の金属板どうしのハゼ締めは難しく、接合部の完全圧着が課題でした。当社は圧着ローラーとガイドローラーを組み合わせた新工法「サイクルホールドシステム」を開発し、この課題を克服。高度な工作精度と一貫製作の仕組みにより、「ハイパーエルボ」を製品化しました。



HyperElbow 強度試験結果

従来品に比べて20倍以上の圧倒的な強度を実現

従来品の試験では接合部の割れが見られたが、ハイパーエルボは変形のみで留まるという結果をみせた。60～80kgの人間が乗っても割れることがない耐久性を発揮します。



〈埼玉県産業技術総合センターで加圧試験機による強度テストを実施〉

[お問合せ] 株式会社 東 販

TEL. 03-3975-2800・2889 (代表)

〒175-0082 東京都板橋区高島平5-1-5

FAX. 03-3975-2993